

考え、話し、**変わる日本へ。** **だれひとり取り残さない**

立憲民主党
埼玉県第1区総支部長
衆議院議員

たけまさ 公一



くまがい裕人当選！参議院も与党過半数割れに！

第27回参院選が終わりました。昨年の衆議院に続き、参議院も与党過半数割れになりました。

投票率は58.61%となり、前回から6.46%上がりました。期日前投票も大幅に増えました。当初から、3連休の中日は初めて、「夏休み前に投票を」との呼びかけが奏功したと考えます。

埼玉県選挙区は、くまがい裕人候補が480,330票で2期目当選しました。

8月に参議院議員選挙後の議席を確定する目的に臨時国会が開かれます。秋に開かれる臨時国会を前に、**野党の大きな塊がまとまって具体的な取り組みをそれぞれの分野、テーマで進められるようにします。**

ただし、立憲民主党は改選議席を維持するにとどまったことは厳しく受け止め、秋の国会に向けて「リスタート」してゆきます。

来年度予算編成に野党の意見を反映させる

秋に向けての取り組みの一つが、来年度予算編成の概算要求から野党の声を反映させることです。6月12日にはトランプ関税への対応をめぐり、党首会談が開かれました。衆議院参議院で野党が過半数を上回った中で迎える秋の臨時国会を前に、党首会談の開催が必要です。そして、来年度予算編成に野党が参加する枠組みを求めます。

通常国会の、衆議院憲法審査会で、私は、立憲民主党を代表して「**国会が、予算、予算修正、予算の大胆な組み換えに関われるように、米国議会予算局のように、国会予算局を設けるなど国会の法制局や調査局も拡充**」を提案しました。**その実現の具体化を求めます。**

また、党首会談では、日本政府の米国への対応を明らかにするとともに、自動車や機械などの関税引き上げ対策の議論を深堀りします。



物価高からあなたを守り抜く

「税金の在り方を有権者自らが決める日本になれるかが問われる選挙」と私は参議院議員選挙中に述べました。そして、まずそのとりかかりが「ガソリン暫定税率」の廃止であります。

通常国会では、「ガソリン暫定税率」の廃止法案が衆議院では可決しました。

秋に開かれる臨時国会で「ガソリン税廃止法案」を可決成立させます。

秋以降、さらに多くの食料品が値上げされるといわれます。ガソリン、軽油の値段が下がれば、モノの値段が下がります。物価高騰政策の第1弾となります。

そして、消費税の食料品税率を下げることです。立憲民主党の食料品ゼロ%税率をはじめ、多くの野党が消費税減税を掲げました。

同じく秋の臨時国会で、消費税率引き下げ法案に過半数の支持が得られるように他党への働きかけを進めます。

秋には、今年度のコメの収穫販売も行われます。食料品価格を押し上げてくるコメの政策を見直すため「**農業者戸別所得補償2.0**」を進めます。

SNSの偽情報・誤情報対策、在外投票対策を

参議院議員選挙では、SNSでの偽情報・誤情報が投票行動に影響を与えなかったかの検証を進めます。衆議院の政治改革特別委員会や、各党政治改革協議会でも、また立憲民主党政治改革本部でも検討を進めてきました。そして、衆議院参議院の憲法審査会でも行ってきました。

秋の臨時国会に向けて、検証とともに、他国の例を参考に、さらに議論を深めてゆきます。

また、昨年の衆議院議員選挙では、在外投票の有権者に対して、投票率が実際は1%台であるという指摘を研究者から得ています。今回の参議院議員選挙の検証を進めます。そして、在外投票に限ってのインターネット投票の導入など、在外投票が投票しやすくなるように更なる工夫を進め求めます。

選挙の在り方にその国の民主主義の在り方が現われる

土曜日曜祝日のいわゆる3連休のど真ん中に投票日が設けられたのは史上初めてのことでした。その影響を検証するとともに、そもそも、

- ① 日曜日に投票日を設けることの検証、米国大統領選挙は火曜日
- ② 候補者名や政党名を手書きさせずに、○やレ点、あるいは穴をあけるなど簡易な方法を採用している国の検証
- ③ 参議院議員選挙は3年ごとに必ず7月に開催されるが、暑さ対策から時期を見直すことはできないのだろうか

等素朴な疑問を大事に選挙の在り方を問いたいと思います。

なぜならば、「選挙の在り方にその国の民主主義の在り方が現われる」とされるからです。

6月10日、私が法案提出者の代表となり「首相の解散権濫用（らんよう）防止法案」を衆議院に提出しました。5月8日の衆議院憲法審査会で、立憲民主党から他党に共同提出を呼び掛けたものです。

単独の提出となりましたが、有権者の皆様に選ばれた衆議院議員を任期途中で解職する権限は「首相の専権事項」ではないこと、しかも、憲法7条「天皇の国事行為」に名を借りた解散はあってはならないとし、解散する場合は衆議院本会議で首相の解散理由への質疑を、また、各地の選挙管理委員会の準備が間に合うように準備状況の確認を行えるようにという内容です。これも、国民主権の実現の一つです。法案成立を引き続き目指します。

たけまさ(武正)公一 衆議院議員



1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選（7期）外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。



たけまさ公一

夏休み

国会議事堂の歴史を学べるミニイベントもご用意しています

親子国会見学会

2025年8月5日 火

●午前10時45分 衆議院第二議員会館ロビー集合→国会議事堂見学→昼食（各自ご準備ください）→ミニイベント＆国会報告会→午後2時頃 現地解散 ●参加費無料

●お申し込みはたけまさ事務所048-832-3810まで。リンク先申込フォームもご利用ください→



立憲民主党 埼玉県第1区メンバー



武田 和浩
見沼区県議



野本 怜子
浦和区県議



添野 ふみ子
浦和区市議



三神 尊志
見沼区市議



佐々木 郷美
見沼区市議



堤 日出喜
緑区市議

立憲民主党埼玉県第1区総支部
衆議院議員たけまさ公一事務所

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記など、様々な情報を発信中！たけまさで検索！

takemasa-k.jp

たけまさ公一公式サイト

